

上下水道インターネットモニター2022年度第2回アンケート結果

(令和4年11月7日～令和4年11月30日)

はじめに

2022年度第2回アンケートは、以下の5つの区分にて全36問で行った。

第1区分「水道の利用について」は、水道水への満足度、基準の認知度を調査した。

第2区分「下水道の利用について」は、下水道の役割、利用の仕方を調査した。

第3区分「災害対策について」は、モニターの方の備蓄の調査、上下水道局の行う災害対策の認知度を調査した。

第4区分「水源保全と給水スポットについて」は、水源かん養林の役割、保全活動の認知度とマイボトルや給水スポットの利用について調査した。

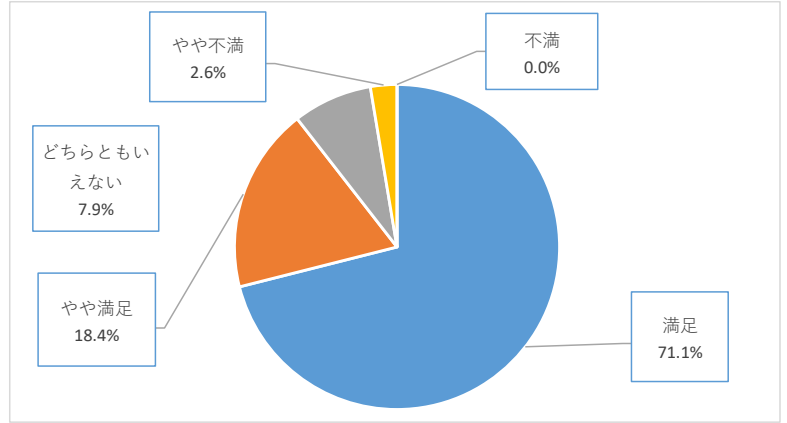
第5区分「上下水道事業の課題について」は、施設の老朽化の認知度、対策をどのように取り組んでいくのが良いかを調査した。

回答結果と分析について

○第1区分「水道の利用について」

・設問1 ご利用いただいている水道水についてどのように感じていますか？（味、におい、にごり、水圧、出具合など）

満足	71.1%
やや満足	18.4%
どちらともいえない	7.9%
やや不満	2.6%
不満	0.0%



・水道水を利用するにあたっての満足度について「満足」「やや満足」と回答した方は、約90%に及んでおり、良い品質の水道水が提供できていると考えられる。今後も、安心・安全な水道水の提供に努めていく。

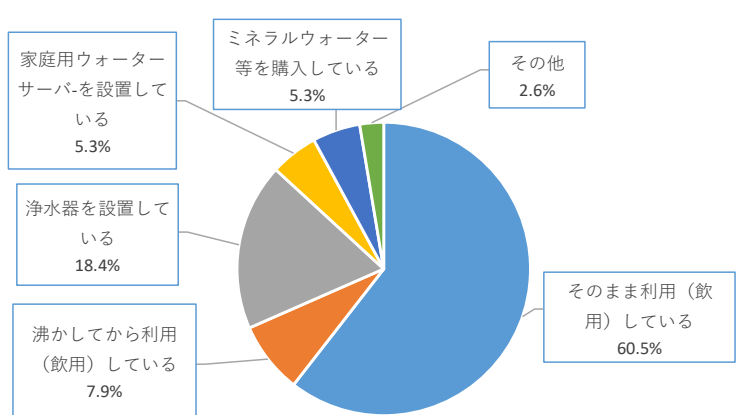
・設問2 設問1の水道水の味、におい、にごり、水圧、出具合などに対して不満な点があればご意見をお聞かせください。

〈ご意見〉

なんの不満もなく美味しく飲んでいる。
水道局で良い水を作っていただいても、団地が古すぎて出てくるまでに赤錆などが混ざってしまう。
いつもおいしい水をありがとうございます。
現在は特にないです
かすかに匂いが感じられる
天気が雨の時、いやな臭いをかんじる。

・設問3 水道水の利用についてお聞きます。水道水をそのまま利用（飲用）されていますか？

そのまま利用（飲用）している	60.5%
沸かしてから利用（飲用）している	7.9%
浄水器を設置している	18.4%
家庭用ウォーターサーバーを設置している	5.3%
ミネラルウォーター等を購入している	5.3%
その他	2.6%



・85%を上回る方が水道水を利用していると回答した。水道水を利用している方のうち、約20%が浄水器を設置している。

・「ウォーターサーバー」や「ミネラルウォーター」といった水道水を利用していない方も約10%いる。

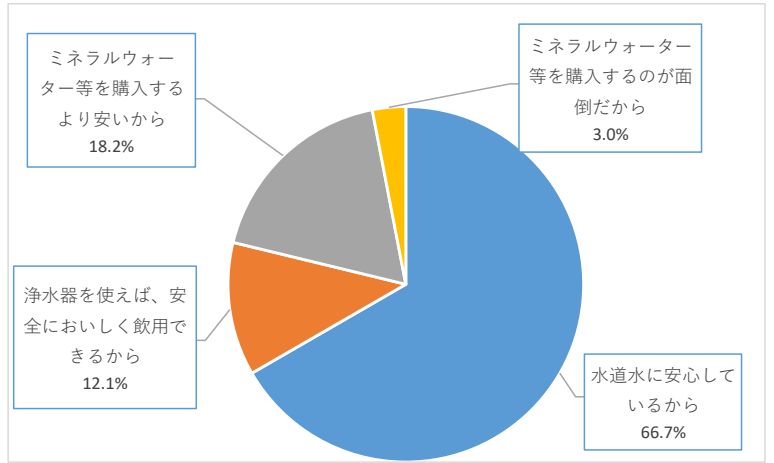
・設問4 設問3で「6 その他」と回答された方は、具体的にどのようなお水を利用しているかお聞かせください。

〈ご意見〉

蛇口が2つあり、1つは浄水器用、もう1つが水道水で飲み水以外の事にはほとんど使っている。
--

・設問5 設問3で「そのまま利用」「沸かしてから利用」「浄水器を設置」と回答された方にお聞きします。水道水を利用（飲用）する主な理由は何ですか？

水道水に安心しているから	66.7%
浄水器を使えば、安全においしく飲用できるから	12.1%
ミネラルウォーター等を購入するより安いから ※水道水：2ℓ×3本＝約1円	18.2%
ミネラルウォーター等を購入するのが面倒だから	3.0%

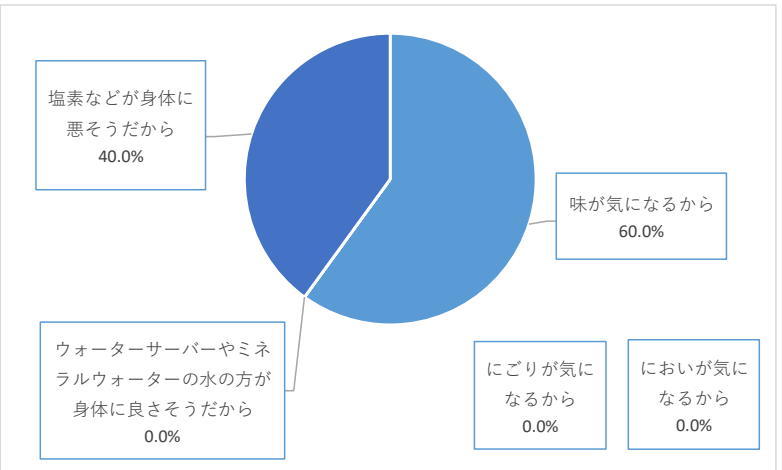


・水道水を利用すると回答した方のうち65%を上回る方が「水道水に安心している」という理由で水道水を利用している。また、浄水器を設置していると回答した方の中には安全のためという理由以外で浄水器を設置している方もいる結果となった。

・昨年度と比較して、「水道水に安心している」と回答した方の割合が約10%増加している。

・設問6 設問3で「家庭用ウォーターサーバーを設置している」「ミネラルウォーター等を購入している」「その他」と回答された方にお聞きします。水道水を利用（飲用）しない主な理由は何ですか？

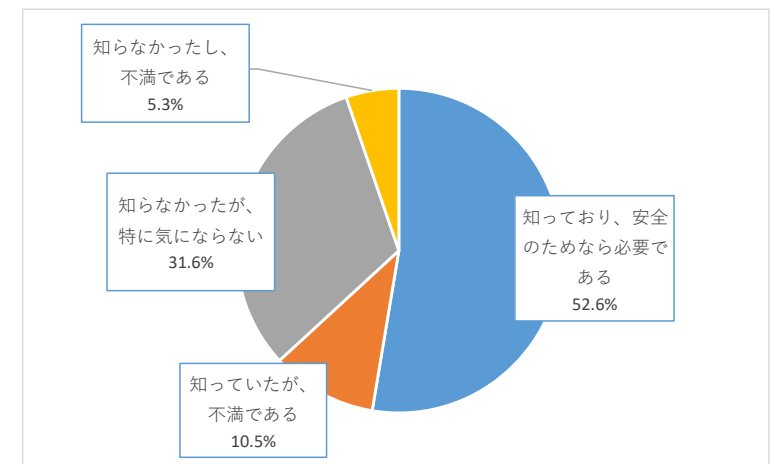
味が気になるから	60.0%
においが気になるから	0.0%
にごりが気になるから	0.0%
ウォーターサーバーやミネラルウォーターの水の方が身体に良さそうだから	0.0%
塩素などが身体に悪そうだから	40.0%



・水道水を利用していない理由のうち、「味」が最も多い理由となっている。「味」も塩素の影響があると考えられ、塩素の影響が大きいと考えられる。

・設問7 水道水には安全な水質を保つため残留塩素濃度という基準があり、どの蛇口から出る水道水もこの基準を満たす必要があります。しかし、時間が経つにつれ、塩素濃度は減少するため、地域によって塩素のにおいの感じ方が異なることをご存知ですか？

知っており、安全のためなら必要である（塩素のにおいを気にしていない）	52.6%
知っていたが、不満である（塩素のにおいが気になる）	10.5%
知らなかったが、特に気にならない	31.6%
知らなかったし、不満である	5.3%

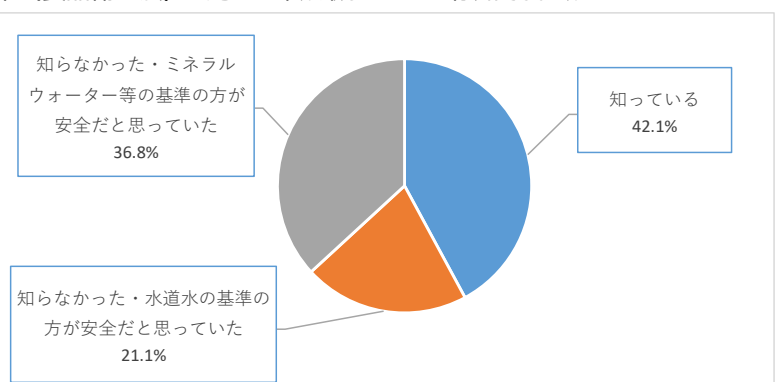


・80%を上回る方が塩素のにおいについて「気にならない」と回答している。

・「塩素のにおいの感じ方が地域によって異なる」ことについての認知度は約63%であり、昨年度よりも約10%増加している。塩素消毒は安心安全な水道水をお届けするために必要なことであるという周知はこれからも続けていく必要がある。

・設問8 水道水の水質基準（水道法）は、ミネラルウォーター等の基準（食品衛生法）に比べ基準が厳しいことをご存知でしょうか？

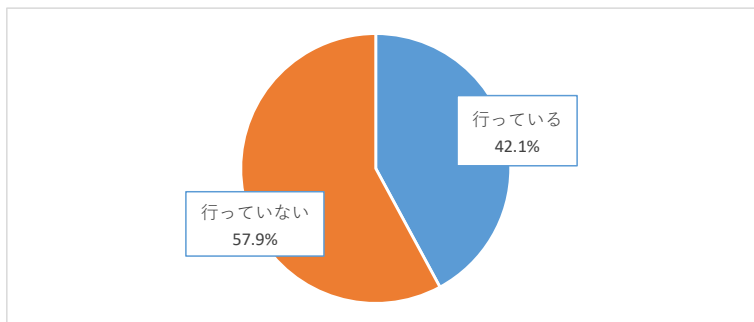
知っている	42.1%
知らなかった・水道水の基準の方が安全だと思っていた	21.1%
知らなかった・ミネラルウォーター等の基準の方が安全だと思っていた	36.8%



・基準の違いについての認知度は50%を下回っていた。しかし、昨年度と比較すると約15%増加しており、水道水の優れた点として周知していくことが良いと考えられる。

・設問 9 水道に関するトラブルについて、冬期になり、気温が-4℃以下になると水道管の水が凍って出なくなったり、水道管が破裂することがあります。ご自宅で水道管に布や毛布を巻くなどの防寒対策を行っていますか？

行っている	42.1%
行っていない	57.9%

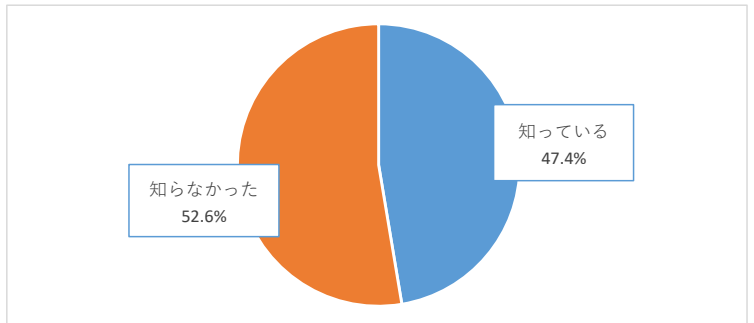


・水道管の防寒対策を行っている方は50%を下回っていた。

・マンション等防寒対策を行う必要が無い方もいるが、家族への呼びかけをしてもらえる等の効果も見込めるため、水道管の凍結防止の呼びかけを行う寒波パトロール等の周知活動は続けていく必要がある。

・設問 10 水道の給水施設はお客様の財産です。漏水などのトラブルが起きた場合、お客様自身が指定給水装置工事事業者へ修理を依頼しなくてはなりません。（指定給水装置工事事業者は上下水道局ホームページに掲載してあります）。このことをご存知でしょうか？

知っている	47.4%
知らなかった	52.6%

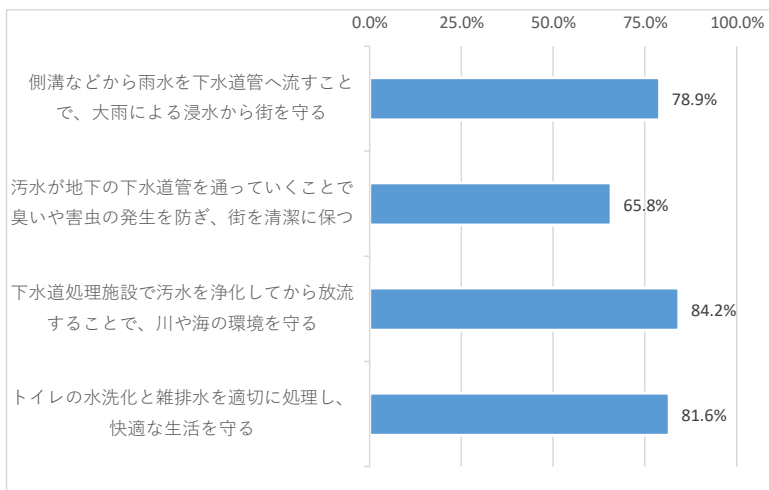


・給水施設の漏水などのトラブルの際に自身で修理の依頼をしなければならないことの認知度は50%を下回っていた。昨年度は約60%の認知度であったため、このことについてはさらに周知していく必要がある。

○第2区分「下水道の利用について」

・設問 11 下水道についてお聞きます。下水道施設には次のような重要な役割があります。ご存知のものを全て次の選択肢からご回答ください。（複数選択可）

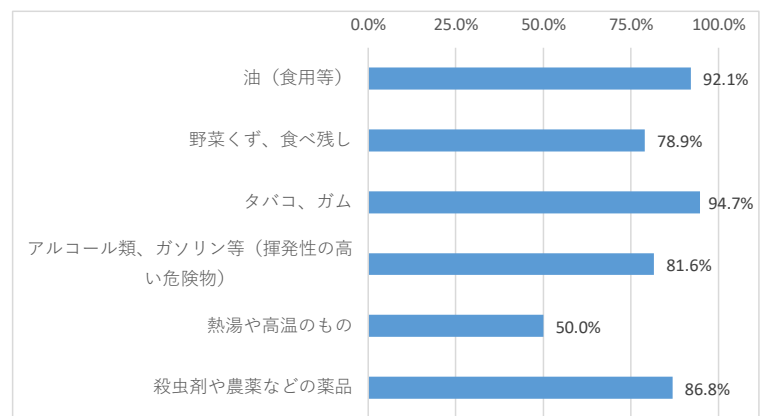
側溝などから雨水を下水道管へ流すことで、大雨による浸水から街を守る	78.9%
汚水が地下の下水道管を通じていくことで臭いや害虫の発生を防ぎ、街を清潔に保つ	65.8%
下水道処理施設で汚水を浄化してから放流することで、川や海を守る	84.2%
トイレの水洗浄と雑排水を適切に処理し、快適な生活を守る	81.6%



・どの選択肢の認知度も60%以上の高い割合であり、下水道の役割の周知が進んでいると考えられる。実感があまりないけれど大切であるということの周知をこれからも続けていく。

・設問 12 排水管を詰まらせる、損傷させる、処理場へ影響を与えるおそれがあるため、下水道に流してはいけないものがあります。ご存知のものを全て次の選択肢からご回答ください。（複数選択可）

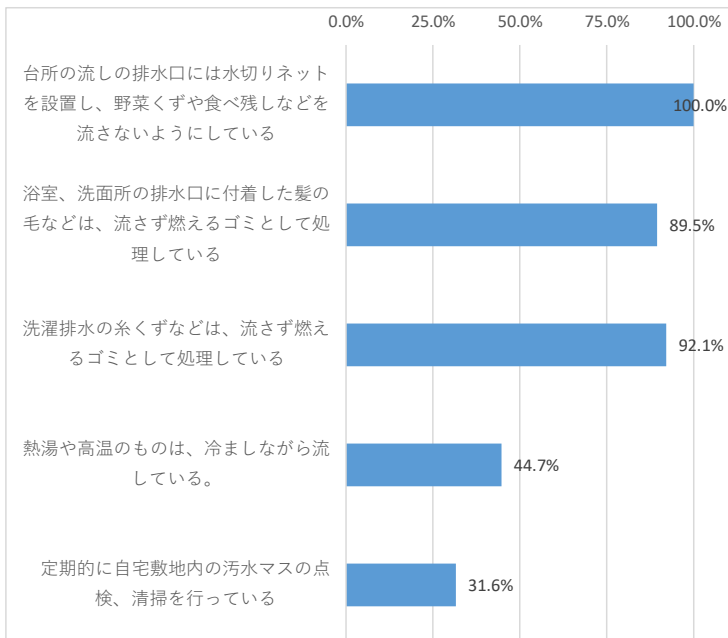
油（食用等）	92.1%
野菜くず、食べ残し	78.9%
タバコ、ガム	94.7%
アルコール類、ガソリン等（揮発性の高い危険物）	81.6%
熱湯や高温のもの	50.0%
殺虫剤や農薬などの薬品	86.8%



・どの選択肢の認知度も高い割合である。しかし、「熱湯や高温のもの」については50%に留まっており、下水道管の保護ため周知をしていく必要がある。

・設問 1 3 「油（食用等）」の処理以外に、下水道の使用にあたり普段から環境の保全や排水設備の維持等のために注意していることがあれば、次の選択肢から全てお答えください。（複数選択可）

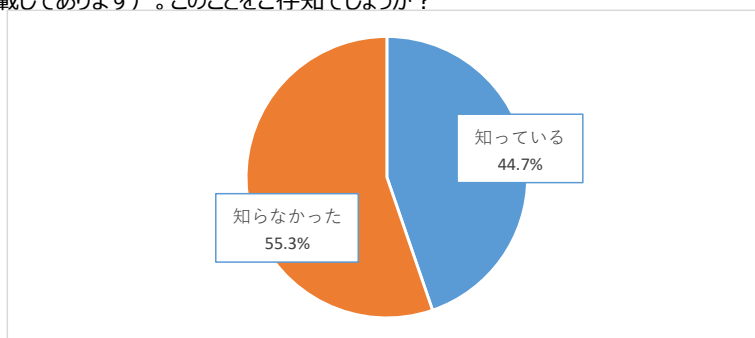
台所の流しの排水口には水切りネットを設置し、野菜くずや食べ残しなどを流さないようにしている	100.0%
浴室、洗面所の排水口に付着した髪の毛などは、流さず燃えるゴミとして処理している	89.5%
洗濯排水の糸くずなどは、流さず燃えるゴミとして処理している	92.1%
熱湯や高温のものは、冷ましながら流している。 ※熱湯を大量に流すと宅内の排水管の劣化や破損の原因になることがあります	44.7%
定期的に自宅敷地内の汚水マスの点検、清掃を行っている	31.6%



・「台所、浴室、洗濯」といった身近で行えることは実践している方が多い。しかし、設問 1 2 と同じく「熱湯や高温のもの」については実践している方が半数を下回っており、下水道管の保護のため周知をしていく。

・設問 1 4 下水道に関するトラブルについて、ご自宅の排水管やトイレが詰ってしまった場合、お客様が直接、下水道工事指定店へ修理依頼を行わなければならない（下水道工事指定店は上下水道局ホームページに掲載してあります）。このことをご存知でしょうか？

知っている	44.7%
知らなかった	55.3%



・設問 1 0 と同じく自宅の下水道管のトラブルについては、自身で修理の依頼をしなければならないことの認知度は半数以下であった。水道のトラブルが起きた際の対処も含め、周知をしていく必要がある。

・設問 1 5 実際に排水管が詰まったり、排水設備に不具合が発生したことがありますか。発生したことがある方は、その際どのように対応したかお聞かせください。

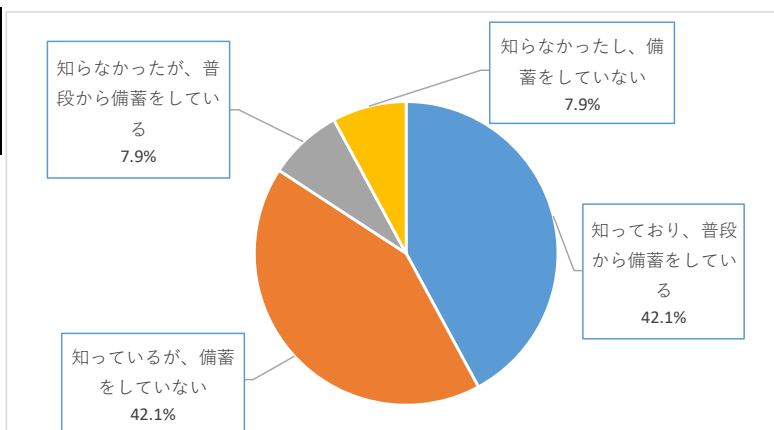
〈ご意見〉

排水管が詰まったので掃除した。
トイレの汚水がマスからあふれたので、業者に対応してもらいました。
以前そのようなことがあったときは、知り合いの方が直してくれたので知りませんでした。
今のところありませんが、もしなった場合、どこに連絡すれば良いか分かってませんでした。
ポストに入っている広告の業者さんに連絡して対応してもらいました。

○第3区分「災害対策について」

・設問 1 6 災害対策について、大規模災害時には断水の復旧や支援が届くまである程度の日数を要することが想定されます。1日の最低必要飲料水は1人あたり3リットルと言われてます。（甲府市の「わが家の防災マニュアル」では大規模災害への備えとして7日分の備蓄を推奨しています。）こちらについてご存知でしたか？

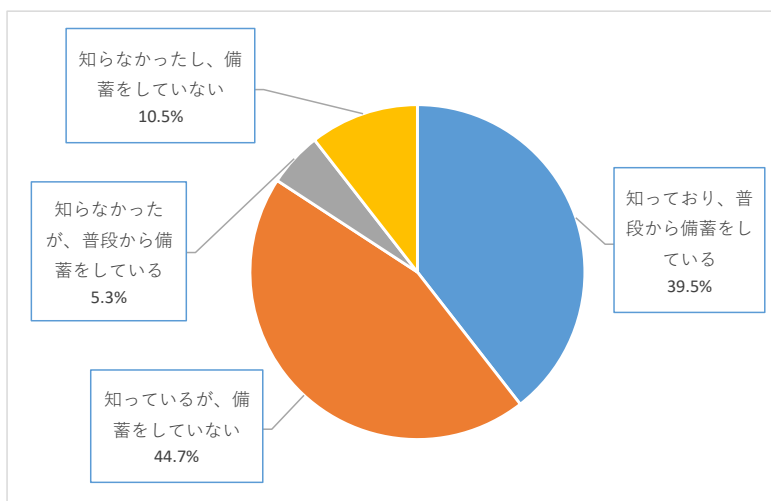
知っており、普段から備蓄をしている	42.1%
知っているが、備蓄をしていない	42.1%
知らなかったが、普段から備蓄をしている	7.9%
知らなかったし、備蓄をしていない	7.9%



・「1日に必要な飲料水の量」の認知度も「備蓄を行っている」割合も50%であった。災害が甚大化の傾向にあり、備蓄の重要性が高まっているため実践してもらえる周知をしていく必要がある。

・設問 17 飲用以外にも、洗い物、トイレを流すなど生活の衛生状態を守る水が必要であり、それを生活用水といいます。（災害時のために風呂の残り湯やポリタンクなどに溜めた水を用いることが多いです。）生活用水の備蓄の必要性についてご存知でしたか？

知っており、普段から備蓄をしている	39.5%
知っているが、備蓄をしていない	44.7%
知らなかったが、普段から備蓄をしている	5.3%
知らなかったし、備蓄をしていない（生活用水が必要なことを初めて知った）	10.5%



・生活用水の備蓄が必要であることの認知度は80%を上回っていますが、必要なことが分かっていても備蓄ができていないと回答した方が一番多くなっている。

・設問 18、19の意見でも挙げられているが、「備蓄する水を置いておく場所がない」という意見が多くみられ、備蓄について課題であると考えられる。その点を考慮した備蓄の方法を考えていく必要がある。

・設問 18 設問 16、17で「2 知っているが、備蓄をしていない」と回答した方にお聞きます。備蓄をしていない（できない）理由があればお聞かせください。

〈ご意見〉

常に備蓄をする習慣がないから。
飲める水を適切に保管するのが面倒。(定期的な入れ替えや容器を清潔にする等)
賃貸なので置いておく場所がない。シャワーのみなので残り湯がない。
風呂の残り湯が必ずあるとはかぎらない、普段は翌朝の洗濯に使ってしまうため。
つつい忘れてしまう、購入したものが消費期限切れるのを捨てるのが面倒。
多少のストックは用意しているが、せいぜい2日分程度で7日分も用意できない。

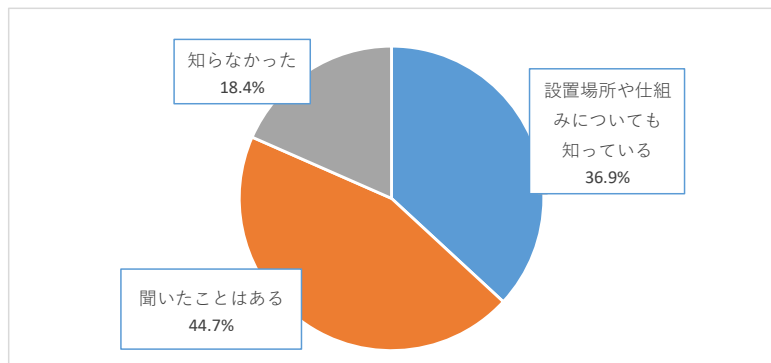
・設問 19 飲料水や生活用水の備蓄について感じたことなどをお聞かせください。また、ご家庭で実践されているアイデアなどありましたらお聞かせください。

〈ご意見〉

飲料水はペットボトルで備蓄して、ローリングストックを意識しているが、これからは生活用水も備蓄し、掃除などに利用しながらこまめに管理したいです。
ペットボトル飲料水の備蓄は場所を取るので大変。期限切れのペットボトル飲料水は生活用水として使えるので期限切れもそのまま備蓄するようにしている。
備蓄の必要性も大切さもわかってはいるが、なかなかできない。
トイレのために生活用水を備蓄するのは難しいので、非常用トイレを備蓄しています。
賃貸だと、置き場所が制限されるので推奨される量は分かっているが、実現が困難です。
災害のニュースを見ると、備蓄した方がよいとは思いますが、現実味がなく、なかなか実践できない。
長期保存可能な水を備蓄している。期限が近付いたら寄付している。
お風呂の残り湯は洗濯物に使用したり植物の水やりに使用。

・設問 20 災害発生時の断水等に備えて「非常用貯水槽」が、避難所である公共施設や小学校に設置されていることをご存知ですか？（校庭の地下などに設置されており、地震などの異常を検知すると緊急遮断弁が閉じて水道水を確保する設備）※甲府市：29カ所、甲斐市（旧敷島町）：2カ所、中央市（旧玉穂町）：1カ所、昭和町：3カ所

設置場所や仕組みについても知っている	36.9%
聞いたことはある	44.7%
知らなかった	18.4%

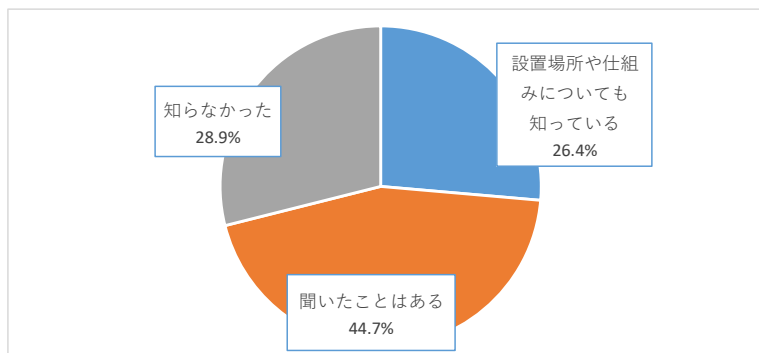


・「知っている」と回答した方は40%を下回っているが、昨年度と比較して約20%増加している。「聞いたことはある」と回答した方と合わせると80%を上回る。

・毎年「水道だより9月号」で「非常用貯水槽」を取り上げているが、周知のため今後も続けていく。

・設問 2 1 災害発生時に下水道管に直接接続できる「マンホールトイレ」をご存知ですか。（専用のマンホールに簡易トイレを設置し、下流の污水管に直接繋がっているため衛生的です。）

設置場所や仕組みについても知っている	26.4%
聞いたことはある	44.7%
知らなかった	28.9%

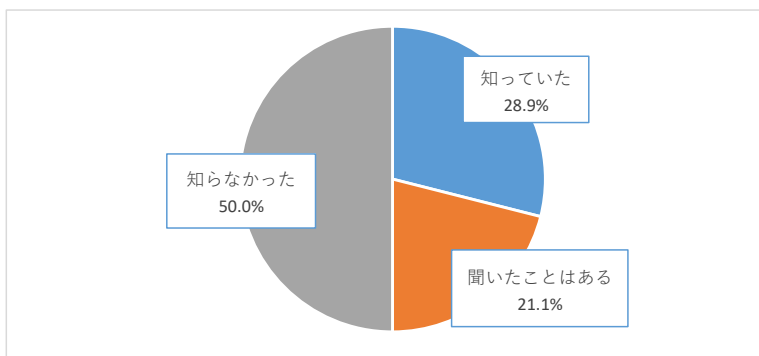


・「知っている」と回答した方は 30%を下回っており、「非常用貯水槽」よりも認知度は低くなっている。「マンホールトイレ」は「水道だより特別号」で取り上げたが、周知のため定期的に取り上げるよう努めていく。

○第4区分「水源保全と給水スポットについて」

・設問 2 2 水源保全についてお聞きします。甲府市では、重要施策の 1 つとして、水源保全の推進に早期から取り組んできました。水資源を育み、私たちに様々な恩恵を提供してくれている森林を「水源かん養林」といいますが、ご存知でしたか？

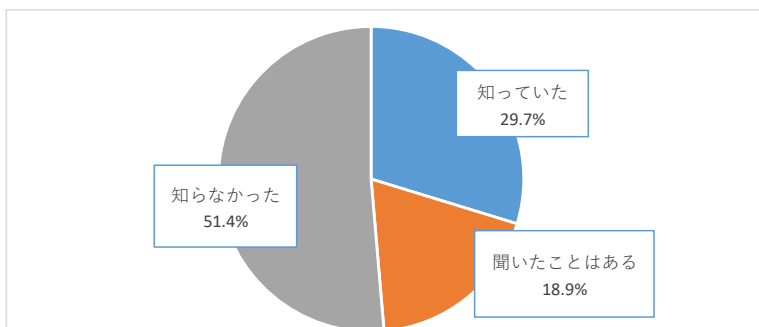
知っていた	28.9%
聞いたことはある	21.1%
知らなかった	50.0%



・「知っている」と回答した方は 30%を下回っていた。「聞いたことはある」を合わせると 50%に及んでいる。名前は聞いたことがあるだけでなく、どのような場所を指しているのか理解してもらえよう周知を進めていく。

・設問 2 3 「水源かん養林」には主に 3 つの働きがあります。1 つ目として、森林の地面にはスポンジのような小さな隙間が多く、雨水をその隙間に貯え、時間をかけて川へと送り出します。晴天が続いても川の水がすぐに枯れないのは、この「水を貯える働き」によるものです。この働きをご存知でしたか？

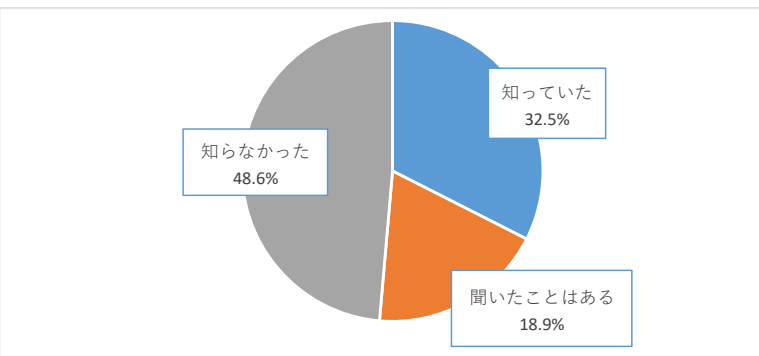
知っていた	29.7%
聞いたことはある	18.9%
知らなかった	51.4%



・設問 2 2 と似た結果となっている。夏季の水不足のように自身に関係のあることを例に挙げ水源かん養林の役割の周知を進めていく。

・設問 2 4 「水源かん養林」の 2 つ目の働きとして、森林の地面にしみこんだ雨は川に流れるまでに長い時間がかかります。時間をかけ、川にゆっくりと流れ出るので、川の水量を安定させます。また、降雨時には川の水かさが増えるのを遅らせるなど「洪水を調整する働き」があります。この働きをご存知でしたか？

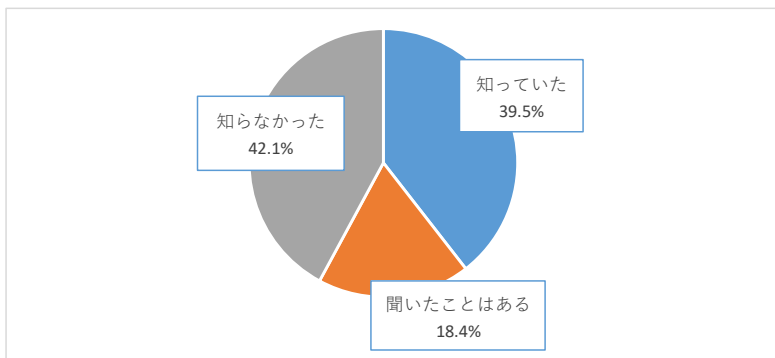
知っていた	32.5%
聞いたことはある	18.9%
知らなかった	48.6%



・設問 2 2 と似た結果となっている。近年の災害への意識が高まっていることを踏まえ、水源かん養林の役割に興味を持ってもらうことのできる周知を進めていく。

・設問 2 5 「水源かん養林」の 3 つ目の働きとして、森林から流出してくる水は時間をかけて地中を通過するため、濁りが少なく、適度にミネラルを含むおいしい水を作り出してくれる「水をきれいにする働き」があります。この働きをご存知でしたか？

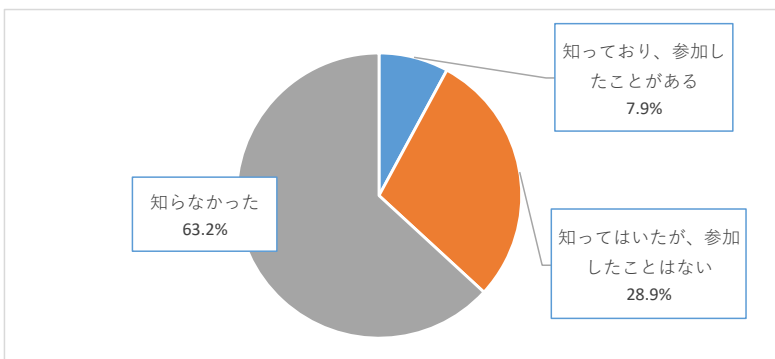
知っていた	39.5%
聞いたことはある	18.4%
知らなかった	42.1%



・「水源かん養林」の役割の中では、一番認知度が高い。「山から流れてくる水はきれいでおいしい」というイメージがあるため、認知度が高いと考えられる。

・設問 2 6 甲府市上下水道局では、水環境を次世代に継承し、守っていくため、水源保全、水源かん養林保護活動を行っていますが、ご存知でしたか？

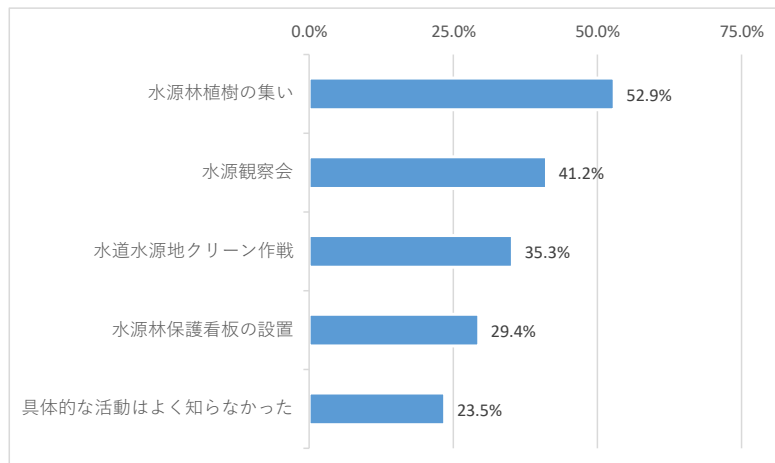
知っており、参加したことがある	7.9%
知ってはいたが、参加したことはない	28.9%
知らなかった	63.2%



・保護活動に参加したことがある方は 1 0 %を下回っていた。ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり、保護活動が中止や縮小となっている。本来の規模で保護活動が行えるようになった際、多くの方が参加していただけるよう保護活動の周知は続けていく必要がある。

・設問 2 7 設問 2 6 で「知っている」と回答された方にお聞きます。水源保全、水源かん養林保護活動のうちご存知のものを次の選択肢から全てお選びください。（複数回答可）

水源林植樹の集い（水源林の保護啓発及び整備）	52.9%
水源観察会（水源及び水源林を観察し、そこに住む生物を通して水の大切さを学習）	41.2%
水道水源地クリーン作戦（水源保護地域の清掃活動）	35.3%
水源林保護看板の設置（水源林の保護啓発、P R）	29.4%
具体的な活動はよく知らなかった	23.5%

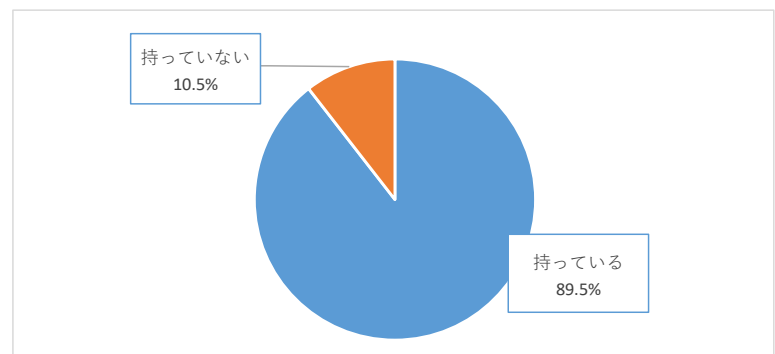


・最も認知度が高いのは「水源林植樹の集い」であった。水源林現地を訪れないと見ることはあまりない「水源林保護看板」の認知度は 3 0 %を下回っている。

・どの活動においても参加募集の時期には積極的な周知を行っていく必要がある。

・設問 2 8 マイボトルについてお聞きます。環境問題の観点からマイボトルの普及が進んでいますがマイボトル（水筒など）を持っていますか？

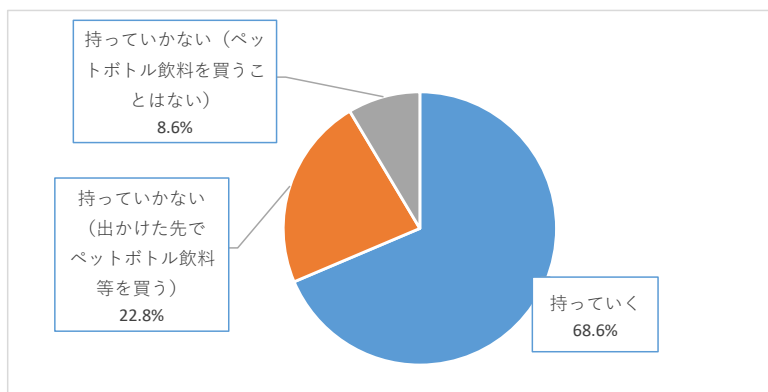
持っている	89.5%
持っていない	10.5%



・水筒などのマイボトルを所持している人は約 9 0 %に及び、マイボトルの普及が進んでいると考えられる。

・設問 2 9 設問 2 8 で「持っている」と回答された方にお聞きます。普段出かける際にマイボトル（水筒など）を持って出かけますか？

持っていく	68.6%
持っていない（出かけた先でペットボトル飲料等を買う）	22.8%
持っていない（ペットボトル飲料を買うことはない）	8.6%

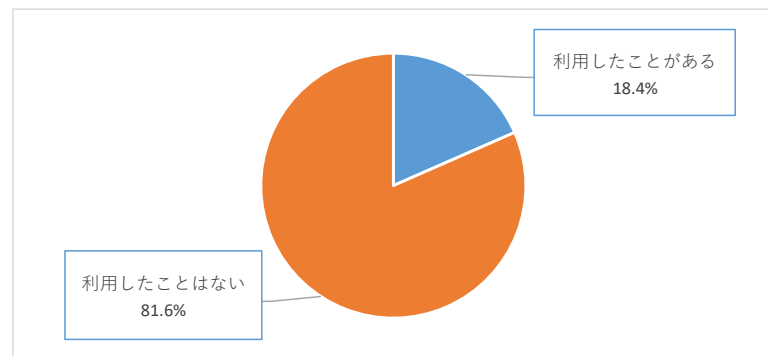


・マイボトルを所持はしているが出かける際に活用していない人は約 30%である。

・「マイボトルを所持しており、出かける際も持っていく」方は約 70%であり、約 70%の方が給水スポットを利用することができると思われる。

・設問 3 0 給水スポットについてお聞きます。普段、外出先で設置してある給水スポットを利用しますか？ ※給水スポット：公共施設やお店でマイボトル（水筒など）に無料で水を入れることのできる施設、サービス。

利用したことがある	18.4%
利用したことはない	81.6%



・設問 2 8、2 9 からマイボトルを利用している方は多くいるが、給水スポットを利用したことがある方は 20%を下回っており、割合が大きく低下している。

・設問 3 1 から、「給水スポットがどこにあるか知らない」「給水スポットが身近にあれば利用したい」という意見が多くみられることから給水スポットの需要があると考えられる。

・設問 3 1 設問 3 0 について、給水スポットを利用する理由、また、給水スポットを利用しない理由をお聞かせください。（例：付近に給水スポットがない。ペットボトル飲料をつい買ってしまふ。など）

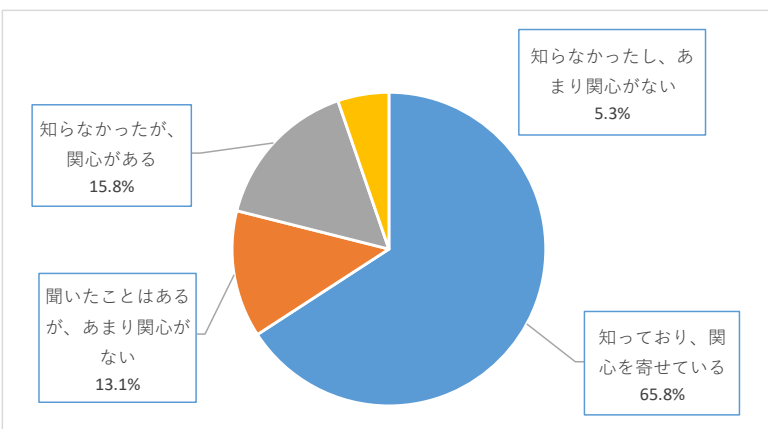
〈ご意見〉

給水スポットがどこにあるか知らなかったので利用したことはありませんが調べて利用したい。車で移動するのでマイボトルを持って行き外出時にはそれで足りる。
給水スポットがどこにあるか知らないため。
身近なところに給水スポットがない。
給水スポットの場所を知らない、マイボトルを持ち運ぶことの必要性を感じない。
普段はマイボトルに自宅から入れていくので不要ですが、見かけた時に珍しかったので試してみました。普段の生活の中であまり見かけないので給水スポットがさらに増えれば利用したいです。
店舗内に設置されているものは、とくに安全性を感じる。

○第5区分「上下水道事業の課題について」

・設問 3 2 全国的に上下水道施設の老朽化対策と、水道管・下水道管の耐震化率向上が課題となっていますが、その整備、改修には多額の費用を必要とすることをご存知でしたか？

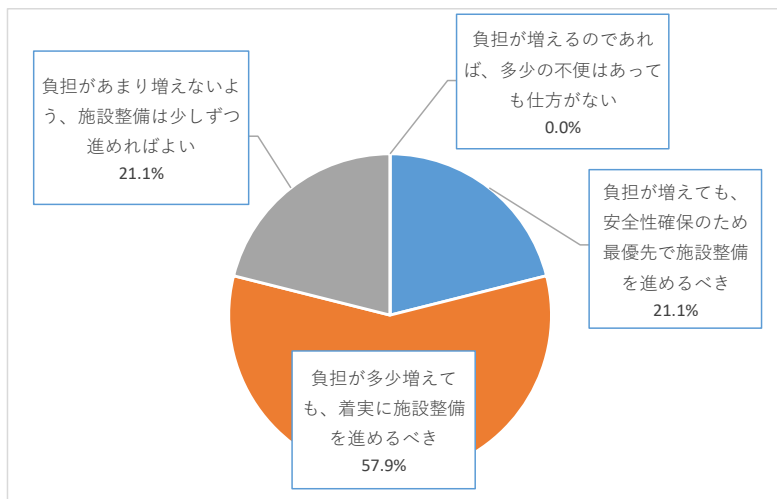
知っており、関心を寄せている	65.8%
聞いたことはあるが、あまり関心がない	13.1%
知らなかったが、関心がある	15.8%
知らなかったし、あまり関心がない	5.3%



・水道管、下水道管の老朽化が原因で破損してしまい、漏水などの被害がニュースで取り上げられることや災害が甚大化していることで、インフラの災害対策も関心を集めていることから、約 80%の方が「関心がある」と回答したと考えられる。

・設問 3 3 設問 3 2に記載した多額の費用を要する施設の老朽化対策と水道管・下水道管の更新、耐震化等について、負担の増加等と向き合わなければならない場合、どのように整備を進めて行くのが良いと思いますか？

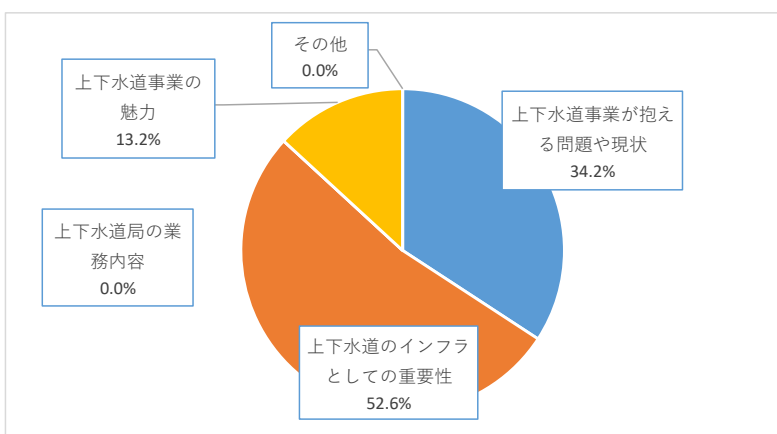
負担が増えても、安全性確保のため最優先で施設整備を進めるべき	21.1%
負担が多少増えても、着実に施設整備を進めるべき	57.8%
負担があまり増えないよう、施設整備は少しずつ進めればよい	21.1%
負担が増えるのであれば、多少の不便はあっても仕方がない	0.0%



・「負担が多少増えても、着実に整備を進めるべき」と回答した割合が一番大きくなっている。昨年度においてもこの選択肢を回答した割合が一番大きくなっており、災害対策への関心の高さのためと考えられる。

・設問 3 4 安全、安心な上下水道事業を継続させていくためには、利用者の方々にどのようなことを知ってもらうことで継続していく意識を持ってもらえるといますか？

上下水道事業が抱える問題や現状	34.2%
上下水道のインフラとしての重要性	52.6%
上下水道局の業務内容（上下水道のしくみ、工事や処理等の効果とかかる時間についてなど）	0.0%
上下水道事業の魅力（甲府の水のおいしさや安全性、モンドセレクション受賞、マンホールカードなど様々な取組について）	13.2%
その他	0.0%



・災害対策や老朽化の課題と関連して、「上下水道のインフラとしての重要性」と回答した方が 50%を上回っている。

・設問 3 5 設問 3 4で「その他」と回答された方は、具体的にどのようなことを知ってもらうことが大切かお聞かせください。該当者なしのため回答なし。

・設問 3 6 第 2 回のアンケートのご回答ありがとうございました。最後にアンケートに回答する中でのご意見、普段上下水道に関して感じていること等ご自由にお聞かせください。

〈ご意見〉

現状の問題点を大きく宣伝すべきだと、考えます。
中学生のころ、学校林の清掃を行ったことがあります。今の子どもたちにも、そういった機会があればいいと思います。
横浜に今年1月まで住んでいたので、老朽化を既に近々の問題として捉えていました。山梨は水源が沢山あるためか、余り危機感を感じている人が居ない印象です。仙台の実家を津波で無くしている私から見ると、山梨の方々は危機管理能力がとても低い印象を持っています。
甲府では検討していると言った話を聞いたことがないが、仙台市など一部の自治体で水道民営化が行われている。私自身は反対の立場ではあるが、民営化の議論が発生した際には利用者を巻き込んだ議論が求められると感じている。
先日の静岡での断水を参考に、災害時の対応について広報活動をした方が良いように思う。
様々な取組や私たちも利用できるものがあることを知れて良かった。
設問を通して知識が増えます。このような取り組みがとても良いと思います！
普段何気なく使っている水道ですが、節水の事は考えても、災害時の事や老朽化、水源保全のことはあまり考えないので、これからは意識するようにしないといけないと思った
アンケートを通して新しく知ること、自分の知識を改めて確認することが出来たように思います。このような機会を与えていただけたことに感謝いたします。
住んでいる付近で下水管の改修工事がさかんに行われているので安心を感じている。
水道水は日々の生活で欠かせないものと考えています。安心して使っていけるようインフラの維持をお願いします。
甲府市の水道水はとてもおいしいと思います。これからもPRに期待しております。
いつも安全なお水をありがとうございます。断水以外でお水の供給ができなくなる事はあったりするのでしょうか？今回のアンケートで備蓄について考える事ができました。